

医学系研究の実施について

当院では以下の臨床研究を実施しております。

人を対象とする医学系研究においては、診療情報を利用させていただくことがあります。このような場合、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に基づき、対象となる患者さんから直接同意を頂く代わりに、研究に用いられる情報の利用目的を含むその研究についての情報を公開し、研究が実施されることについて患者さん(ご家族を含む)が拒否できる機会を保障することが必要とされています。

ご自身(ご家族を含む)の診療情報を研究に使用してほしくない方や、研究の内容について知りたいことがある場合は、各研究の情報公開文書に記載されている「お問い合わせ窓口」へご連絡下さい。なお、研究に使用してほしくない等の申し出を行うことを理由に、診療で不利益を受けることはありません。

課題名	大腸癌手術に対するCOVID-19の影響に関する後方視的解析
1. 研究の対象	2018年4月1日から2021年3月31日までに、当院および参加施設(大阪大学消化器外科関連施設)において大腸癌に対して手術を施行した症例
2. 研究目的・方法	目的: COVID-19が大腸癌手術患者の背景に及ぼす影響を検討することを目的としています。 方法: 患者基本情報(性別、生年月日等)、原発巣総合情報、原発巣病理情報、施設基本情報などを収集し、COVID-19感染拡大前後での患者背景の変化を検討します。
3. 研究に用いる 試料・情報の種類	カルテに記録されている対象症例の大腸癌手術に関連した情報
4. 外部への 試料・情報の提供	データセンターへのデータの提供は、個人が特定できないかたち(匿名化)で、特定の関係者以外アクセスできない行い、対応表は当院で厳重に管理します。
5. 研究組織	研究組織代表者: 大阪大学消化器外科共同研究会 大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学 教授 土岐 祐一郎、江口英利 研究代表者: 国立病院機構 大阪医療センター 外科 三代雅明 研究責任者: 大阪大学大学院医学系研究科 消化器外科学 講師 植村守 参加施設: 大阪大学医学部附属病院、JCHO大阪病院、JCHO星ヶ丘医療センター、第二大阪警察病院、医誠会病院、大阪警察病院、大阪中央病院、JCHO大阪みなと中央病院、大阪労災病院、大手前病院、加納総合病院、川崎病院、河内総合病院、関西ろうさい病院、紀南病院、近畿大学医学部奈良病院、近畿中央病院、国立病院機構大阪医療センター、済生会千里病院、彩都友誼会病院、四天王寺病院、市立芦屋病院、市立池田病院、市立伊丹病院、市立貝塚病院、市立川西病院、堺市立総合医療センター、市立吹田市民病院、市立豊中病院、清恵会病院、田仲北野田病院、多根総合病院、豊中緑ヶ丘病院、済生会富田林病院、西宮市立中央病院、日本生命病院、阪南中央病院、阪和住吉総合病院、市立東大阪医療センター、東宝塚さとう病院、兵庫県立西宮病院、大阪急性期・総合医療センター、大阪国際がんセンター、ペルランド総合病院、箕面市立病院、守口敬仁会病院、八尾市立病院、りんくう総合医療センター、大阪はびきの医療センター
6. お問い合わせ先	公益財団法人日本生命済生会 日本生命病院 消化器外科 水野 均 〒550-0067大阪市西区江之子島2丁目1-54 TEL 06-6443-3446/FAX 06-6443-3557

公益財団法人日本生命済生会 日本生命病院 倫理委員会

倫理委員会承認番号: 2021-005

表示期間 2025年 3月 31日 まで